



大杉東小だより

令和7年2月28日 NO. 13

江戸川区立大杉東小学校 校長 高橋 真

探究的な学習の一つのゴール

2月7日（金）と8日（土）に学習発表会を開催しました。本校にとって学習発表会は3回目となりますが、新校舎での初開催ということで、発表内容だけでなく、作品の展示場所や児童の動線など様々な観点でこれまでの学習発表会を見直してきました。図工や家庭科などの作品作りでは、前学年の作品を参考に、アイデアや技法を取り入れている様子も見られ、継続することの重要性を感じました。また、体育館における発表では、前学年の発表内容をパワーアップしようという動きや、昨年の反省を踏まえて声の出し方や動作を工夫する様子も見られました。何よりも2年生以上は、自分たちで台詞や動作を考えたグループが多く、これも継続の賜物と嬉しくなりました。まさにその姿は、主体的かつ協働的でありました。

本校は昨年度までの2年間、生活科と総合的な学習の時間の研究に取り組んできました。その学習スタイルは「探究的な学習」と呼ばれ、①課題設定→②情報収集→③整理・分析→④まとめ・表現という過程を繰り返すことで、自己の生き方を考えていくための資質・能力を培っていきます。今回の発表は、このプロセスの④まとめ・表現の段階であり、異学年や地域・保護者の皆様に「広げる」という目的を果たす一つのゴールだったのです。

保護者の皆様からは、多くのご感想をいただきました。原文のまま一部抜粋してご紹介します。

「昨年より更に大きな声と身振り手振りをつけた表現を堂々としている子たちが増えて素晴らしく、驚いた。災害について私たちの方が学ぶことがあり、内容も良かった。歌も響いていて素晴らしかった。」

「与えられた課題でなく、子供達自らが考え工夫した様子が見られた発表でした。住んでいる地域への興味関心を持つ良い機会にもなったと思います。これからも自主性を養う学習を期待しています。」

「展示物はそれぞれの学年が一生懸命作った作品が、工夫して飾られていて学校中が美術館のようでも素敵でした。」

ただ、「体育館出入り口のあたりが混雑していた。」「後方過ぎて見づらかった。声が聞こえなかった。」などのご指摘も多数いただきました。今後の課題として解決に努めていきます。ありがとうございました。

今年度も残すところ1か月となりました。様々な場面で1年間を振り返り、次年度への希望を膨らませていきます。

『寝る子は育つ』

25日（火）に学校保健委員会を開催し、管理栄養士で睡眠改善インストラクターである篠原絵里佳先生に、「健やかな心と体を育む睡眠」をテーマにご講演いただきました。「睡眠」と聞くと、とかく就寝時刻や睡眠時間にこだわりがちですが、成長ホルモンを分泌する深い睡眠（ノンレム睡眠）には、メラトニンという物質が必要なこと、メラトニンを作るために、太陽光を浴びたりバランスの良い朝食をとったりすることが大切なことなどを教えていただきました。良い眠りのための「朝の過ごし方」「日中の過ごし方」「夜の過ごし方」など生活習慣の見直しについても詳しく教えていただきました。全国学力調査においては、睡眠と学力の因果関係も顕著に表れています。篠原先生には、次年度もご来校いただき、「食」をテーマにお話しいただく予定です。楽しみにしててください。



お子さんのタブレットの確認をお願いします！

一人1台配付されているタブレットについては、各学級において毎日学習に活用しているところですが、使い方については「ひがしっこiPadルール」を基に、ご家庭においてもルールを決めていただいています。最近、区内小学校において「タブレット内に不適切な写真や動画を保存している児童が多数いる。」との報告がありました。各学級でも確認し、もし保存されているようならば削除させますが、ご家庭でも保存されている画像の確認をお願いいたします。